

うるおい木曾

東海三県を水で結ぶー木曾川用水

Vol. 70

2018・1月

水がささえる豊かな社会



独立行政法人 水資源機構

発行：木曾川用水総合管理所
〒495-0036

愛知県稲沢市祖父江町馬飼寺東26-1

TEL 0587-97-3710 (代表)

FAX 0587-97-1482

ホームページアドレス

<http://www.water.go.jp/chubu/kisogawa>

明けましておめでとうございます



皆さま方には、健やかに新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

木曾川用水総合管理所では、木曾川大堰と濃尾第二施設の管理、木曾川右岸施設の管理及び改築を実施するとともに長良導水施設の管理を行っておりますが、昨年は幸いにも順調に管理及び改築を実施することができました。これもひとえに皆さま方から水利用の調整など、施設の日々の運用にあたりご尽力いただいた賜物と深く感謝申し上げます。

昨年は、雨の降り方に偏りがあり、地域によっては局所的に集中豪雨が発生した年でした。

木曾川用水の水源である岩屋ダムでの雨量は、平年比で3月が3割程度、5月、6月が4割程度、9月、11月が5割から6割程度でした。反対に雨量が多かったのは、平年比で4月が6割増、10月が9割増で、雨が少ない月、多い月が極端な年でした。とくに5月、6月は小雨であったため、木曾川の流況が悪化し、6月11日から供給する新規利水の全量を岩屋ダムに依存する状態が続き、毎日、岩屋ダムの利水貯水率で2.5%程度、量で約150万 m^3 の供給を行いました。

6月29日には、同ダムの利水貯水率が57.4%まで低下し、皆様に節水対策をお願いしなければならぬかと思いましたが、6月30日から7月1日にかけてまとまった雨が降り河川流況が回復し、皆様の水利用に影響が出ませんでした。

木曾川用水に関係する地域では、美濃加茂市において7月14日に統計開始以来最大の89.5mmの時間雨量を観測し災害が起きるほどの豪雨となり、愛西市では台風21号による雨量が10月22日だけで233mmに達し、同市の同月1ヶ月平均雨量127.4mmの1.8倍を観測しました。

7月5日から6日にかけて発生した「平成29年7月九州北部 豪雨」は、福岡県朝倉市周辺で、24時間に平年の7月1ヶ月分を上回る516mmの降雨を観測し、多数の死者が出るなど甚大な被害が出ました。この地域には当機構の事業所があり、全国から延べ約200名の職員を派遣し、被災状況調査やポンプ車で緊急取水を行う等、被災地域への支援を行いました。



木曾川用水総合管理所
所長 村上喜昭

災害時には当機構の資機材を融通し、被害の拡大防止、被災施設の早期復旧等の災害対策のお手伝いができることとさせていただきますので、何かあればお声をかけてください。

当機構は、施設を災害から守り適切に管理することで、安全で良質な水を安定して届けてまいります。

また、木曾川右岸緊急改築事業も計画的に進めてまいりますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

最後になりましたが、本年が皆さま方にとってよき年でありますように、ご健勝とご発展を祈念いたしまして、私の新年のご挨拶といたします。



木曾川大堰洪水吐A2ゲート整備・塗装工事始まる

木曾川大堰は、完成から40年以上が経過していることから、ゲート設備の経年劣化による機能の低下を防ぎ、設備本来の正常な機能維持と円滑な運用を図る目的で、木曾川大堰洪水吐A2ゲートの扉体整備及びゲート本体の塗装の塗り替え工事を進めています。

この工事は大堰の機能を保ちながら行う必要があるため、ゲートの下流側に仮ゲートを設置し進めます。

作業を安全で効率的に進めるために、木曾川大堰にかかる馬飼大橋の交通規制（片側通行止め）を行い工事を実施しています。

平成30年3月末の工事完了を目指し、安全第一で作業を行っていきます。



橋上の作業



仮ゲートの設置

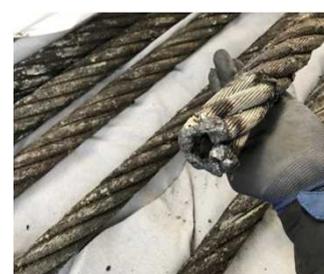
工事期間中、ご迷惑をおかけしておりますが、皆様のご理解とご協力をお願いします。



塗装用防護ネット設置



滑車・ワイヤロープ取り外し状況



JAFによる車両運転訓練を実施

木曾川用水総合管理所には、中型車(4tユニック)が配備されていますが、緊急時に備え職員の運転技能の向上と交通事故防止を図る目的で、11月17日に一般社団法人日本自動車連盟(JAF)の方を講師に招き、車両の運行訓練を実施しました。

訓練内容は、安全運転講習の後、中型車は、内輪差確認、走行中の周囲確認、幅寄せ停車、普通車は、死角の確認、車庫入れなどを行いました。



中型車運転訓練



パイロンを使って死角の確認



「第19回全国山羊サミットinぎふ」で成果報告

11月4日、5日、山羊の飼育や活用技術に関する成果の共有と情報発信を目的とした【第19回全国山羊サミットinぎふ】が美濃加茂市内で開催されました。このサミットには、木曾川用水総合管理所も後援しています。

初日の一般講演の部では、美濃加茂管理所の職員が『ヤギの放牧を活用したダム堤体における維持管理について』と題した成果報告を行いました。

参加者から「植生の変化を継続して調査してほしい」「耕作放棄地が増加し、水源のため池の維持管理ができない状況にある中、今回の取組みは重要である」などの意見が出され、同職員は、「更に研究を進め、効果が確認できたものについては情報共有を図っていきたい」と答えていました。



講演のホテル会場



成果報告を行う職員



山羊の削蹄講習

稲沢市立長岡小学校で出前講座を実施

11月22日、稲沢市立長岡小学校4年生の児童を対象に出前授業を行いました。

授業では、水資源についてクイズ形式で学んだり、用水路の仕組みやはたらきについて学びました。

職員にとっては普段何気なく触れている水のはたらきについて、専門的な内容と言葉をわかりやすい言葉に置き換えて、児童たちに伝えることを心掛けました。

このことは、自分たちの専門とは異なる分野の人に対し、いかにわかりやすく伝えるかといったコミュニケーション能力の向上に繋がっており、これからの仕事にも大いに活かされます。

また、人前で話すためには普段の業務についてより深く知る必要があり、働く意義や目的を見つめ直す良い機会になっています。

今後も、この活動を通して、地域に貢献していきます。





サツキマス稚魚放流体験学習会を開催しました！

12月1日、地元の長岡小学校、木曾川漁業協同組合及び愛知県との協働により、サツキマス稚魚の放流体験学習会を実施しました。

この体験学習会は、地元小学校の児童を対象に、木曾川漁業協同組合と愛知県が行う水産資源の増殖の取り組みや木曾川の自然環境について学んでもらうとともに、木曾川への親しみを深めてもらうことを目的として、毎年、木曾川大堰の左岸魚道で実施しているもので、今回で14回目になります。

当日は天候に恵まれ、長岡小学校の全児童（126名）が大堰の魚道の上に架設された橋の上からバケツに入った18センチほどの稚魚を放流しました。

放流した稚魚は、木曾川を下り伊勢湾を回遊し800グラムぐらいに育ち、サツキの咲く5月から6月頃に、「サツキマス」と呼ばれて木曾川に遡上してきます。

児童たちは、ふだんできない体験に大喜びの様子で、小さいのちの旅立ちを見送っていました。



棧橋から放流



サツキマスを観察



みんなで記念撮影

◇人事異動

お世話になりました。【11月1日付け転出者】 総務課長 大牧 千木(豊川用水総合事業部)
よろしくお願ひします。【 " 転入者】 " 梅村 喜重(利根導水総合事業所)

お知らせ

明けましておめでとうございます。
本年も本誌が皆さま方にご愛読いただけますよう努力して参りますとともに、読者の皆さまにとりまして良き年となりますように祈念します。
本年も引き続き皆様からのご意見・ご感想をお待ちしています。ハガキやメール等でどしどしお寄せ下さい。
また、施設見学をしてみませんか。事業の説明にも伺います。希望される方はお気軽に連絡して下さい。